

吉備中央町を元気なまちNO.1にするラボ

連携先：岡山県中山間地域振興課、吉備中央町



00背景

岡山県中山間地域振興課より、岡山県中央部に位置する「吉備中央町」の地域活性化に関する課題提供を受け、20名の経営学科3年次生が教員2名、現地の関係者である2名の非常勤講師とともに、1年間取り組む。

01課題

吉備中央町の人々が元気になり、町外の人に関心を持つ活性化案の提案。

02内容

- 2-1 **まちを知る** → 町に関する調査や分析を実施。
- 2-2 **まちを企画する** → 町を訪れリアルな「まち」を見て理解を深化させる。企画の実行。
- 2-3 **まちを企画するII(調査と具体化)**
 - 分析や視察等に基づき企画の具体化。
 - 企画の参考となる人物や施設にインタビューや視察調査を実施。
- 2-4 **仕上げと企画提案**
 - 町の強みをいかした4つの切り口①六次産業②福祉③観光④移住定住からチームごとにアプローチを行う。
 - 吉備中央町をイメージするフレーズを設定。
「～旅するように暮らす、暮らすように旅するまち「吉備中央町」～」



ヒアリング調査の様子

03結果_連携先への活性化案の提案

【六次産業チーム】

- ・豊かな農作物×ローカルフーズの魅力を生かした特産品新商品の開発提案

【福祉チーム】

- ・元気なお年寄り×吉備中央町のポテンシャルを活かした、お年寄りの生きがいづくり、「心の健康」を目指したイベントの企画

【観光チーム】

- ・吉備中央町にある引退競走馬の施設×密になりにくい環境を生かした滞在型観光ツアー

【移住・定住チーム】

- ・ネット環境の充実×リモートワークの推進を活かした企画
- ・キャンプ場の存在×キャンプ文化の流行を活かした企画
- ・田舎の需要×インフルエンサーの情報発信力を活かした長期滞在型企画



連携先・関係者の方々へ向け実施した報告会